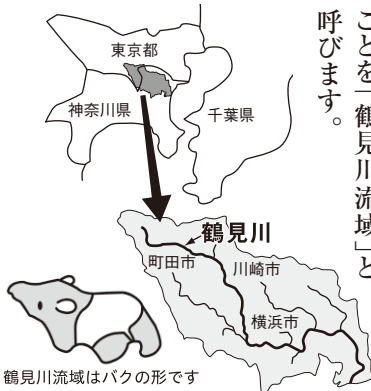


## 源流から河口へ、つながる流域

# 鶴見川 通信 第3号

### 鶴見川の源流はどこ？

フルマラソンとほとんど同じ、約42.5 kmを流れる鶴見川。その源流がどこにあるかご存知ですか？ 答えは、東京都町田市。鶴見川には、標高約170 mを水源とする低山地に囲まれた地域に降った雨が集まってきますが、その範囲は、町田市、横浜市、川崎市、稲城市まで広がっています。ひとつの水循環系としてつながっているこの地域のことを「鶴見川流域」と呼びます。



鶴見川流域はバクの形です

### 下流を守る 緑の調整池

都市化が進んだ鶴見川では、流域に降った雨が一度に川に流れ込まないように、防災調整池などの施設をたくさん造ることで下流の洪水被害を防止しています。そしてもう一つ、鶴見川流域にとつて「守り神」とも言える存在

が、町田市上小山田に広がる「源流保水の森」です。町田市が育てる総面積40 haの自然豊かなこの森は、雨水を地中に導く緑の調整池としての役割を果たし、下流の人々の安心・安全な暮らしを守ってくれています。



▲源流保水の森

### 鶴見川でつながる人々

今、鶴見川では、下流の人々が源流を訪れる「植林ツアー」が静かな人気を集めています。また、毎年お正月には、源流から河口までを2日間かけて歩く「つるみ川新春ウォーク」が開催されます。澄み切った空気の中、富士山を背に市民団体の皆さんのガイドを聞きながらの旅は、鶴見川の風物詩となっています。このようなイベントを通じて、流域に住む市民同士の新たなつながりも生まれています。

### 川づくりで 地球のためにできること



▲市民参加のクリーンアップ活動

身近な環境を守り育てることは、誰もが地球のためにできることの一つです。鶴見川流域では、水マスタープランの応援団である「水マス推進サポーター」や、市民団体の皆さんなどによるクリーンアップ活動が盛んに行われています。12月10日(土)には、鴨池人道橋のもと(鴨居駅北口すぐ)にて、12月24日(土)には、綱島ハリケン島(綱島駅すぐ)にてそれぞれ活動が予定されています。誰でも参加でき、自然観察なども同時開催されるので、ぜひご家族一緒にご参加ください。

### ▼鶴見川流域センターをご利用ください

鶴見川流域センターでは、流域で行われるイベントや、その参加方法の紹介も行っています。鶴見川の情報があふれる水族館も併設されているご家族で楽しめるスポットです。ぜひ一度ご来館ください。

この広告および鶴見川に関するお問い合わせ

国土交通省 京浜河川事務所  
TEL 045-503-4009

イベント情報は、ホームページでもご覧になれます。  
<http://www.ktr.mlit.go.jp/keihin/>  
ふれあつて流域鶴見川イベントカレンダー

地域防災施設 鶴見川流域センター  
(JR小机駅から日産スタジアム方面、徒歩6分)  
TEL 045-475-1998

## 広告